

山江村議会だより

まるおか

No.79

こんにちは あかちゃん



写真の説明

中村 てんか 天花ちゃん 父：浩二さん（第4区）
母：安由さん

明るく元気に育ってほしいです。

目次

- | | |
|--------------------|-----|
| ○新年のご挨拶 | P2 |
| ○令和2年第8回山江村議会定例会報告 | P3 |
| ○ここが聞きたい 一般質問 | P6 |
| ○編集後記「だんだんあ」 | P12 |

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

御家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。村民の皆様には、日頃から村議会全般に対するご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が発生し、しかも急激な拡大により、まだまだ先が見えない状況で世界各国がその対応に右往左往しております。更に、未曾有の豪雨により、人吉球磨地域は歴史的大水害を被り、危機に直面しました。しかし、関係者を始め住民のふるさとへの復旧復興に対する意欲により、次第にその動きは活発化しつつあります。本村も甚大な被害が発生しましたが、早速復旧復興に向けて対策を講じております。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。

コロナ感染により生活様式、経済状況、社会環境などの変化により取り巻く情勢には厳しいものがあります。いささか時間はかかりますが、課題の解決に向けて、皆の知恵と工夫により切り抜けなければなりません。

地方がいつも元気で「日々安心して暮らせる社会」が実感できるよう議会もその役割、責任を一層自覚し全力で取り組む決意を新たにしているところです。

令和三年新春にあたり、村民の方々に取りまして平穏で佳い年であることを心から願っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

令和3年正月 山江村議会議長 中竹 耕一郎



(写真：山江村議会議場)

農林業施設災害復旧費 約5億円計上！

令和2年第8回山江村議会定例会報告

令和2年第8回12月定例会は、12月8日から10日までの3日間の会期で開催されました。条例の制定4件、令和2年度一般会計及び特別会計補正予算7件、山江村人権擁護委員の推薦に関する意見を求める諮問1件及び報告1件の計13件が提案され、審議を行った結果、原案どおり可決しました。また、山江村選挙管理委員及び補充員の選挙については、議長の指名推選により委員4名、補充員4名が当選されました。

一般質問には5名が登壇し、7月豪雨からの復旧・復興状況をはじめ、執行部の考えを質しました。

令和2年度補正予算 一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ8億3,519万4千円を追加し、総額82億3,154万1千円とする補正で、7月豪雨で被災した農林業施設等の災害復旧費4億9,972万円が主なものとなっています。

【歳入】

(単位：千円)

区分	補正前額	補正額	計	主な説明
国庫支出金	3,130,131	625,799	3,755,930	災害復旧費国庫補助金等
県支出金	255,433	13,323	268,756	子どものための教育・保育給付費等
財産収入	22,285	220	22,505	公用車売却収入
寄附金	25,700	490	26,190	災害見舞金
諸収入	36,986	4,462	41,448	建物災害共済保険料等
村債	1,469,100	190,900	1,660,000	災害復旧事業債等
歳入合計	7,396,347	835,194	8,231,541	

【歳出】

(単位：千円)

区分	補正前額	補正額	計	主な説明
議会費	59,775	△145	59,630	議員・職員手当
総務費	942,595	4,124	946,719	時間外勤務手当など
民生費	687,075	41,892	728,967	児童福祉費負担金など
衛生費	488,656	44,938	533,594	公費解体・撤去工事請負費など
農林水産業費	325,688	5,598	331,286	公有林災害復旧工事請負費など
商工費	165,032	1,564	166,596	商工費負担金など
土木費	289,307	4,321	293,628	人件費（人事異動に伴う）など
消防費	127,028	△2,176	124,852	水防費の減額など
教育費	351,454	26,568	378,022	公立学校情報機器購入費など
災害復旧費	3,385,247	761,806	4,147,053	災害復旧本工事など
予備費	215,045	△53,296	161,749	
歳出合計	7,396,347	835,194	8,231,541	

※補正のあった項目のみを掲載していますので、歳入歳出合計の数字とは一致しません。

特別会計補正予算

(単位：千円)

区分	補正前額	補正額	計	主な説明
国民健康保険	470,047	16,000	486,047	一般被保険者高額療養費補助など
簡易水道	266,809	△50,414	216,395	災害復旧本工事費の減額など
農業集落排水	172,405	1,400	173,805	集落排水施設修繕料など
介護保険	469,212	1,185	470,397	システム改修委託料など
後期高齢者医療	39,946	△50	39,896	負担金の減額
ケーブルテレビ	67,595	△26	67,569	宅内引込工事費など

こんなことが決まりました

議案番号	事件名	議決の結果
報告第 4号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	原案可決
諮問第 1号	山江村人権擁護委員の推薦に関する意見を求めることについて	適任意見
議案第59号	山江村債権管理税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第60号	山江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第61号	山江村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第62号	山江村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第63号	令和2年度山江村一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第64号	令和2年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算(第4号)	原案可決
議案第65号	令和2年度山江村特別会計簡易水道事業補正予算(第5号)	原案可決
議案第66号	令和2年度山江村特別会計農業集落排水事業補正予算(第5号)	原案可決
議案第67号	令和2年度山江村特別会計介護保険事業補正予算(第2号)	原案可決
議案第68号	令和2年度山江村特別会計後期高齢者医療事業補正予算(第2号)	原案可決
議案第69号	令和2年度山江村特別会計ケーブルテレビ事業補正予算(第4号)	原案可決
選挙第 1号	山江村選挙管理委員及び補充員の選挙について	推選当選

※原案可決・意見については、全議員賛成。

◆諮問第1号

山江村人権擁護委員の推薦に関する意見を求めることについて

《内容》

氏名 前田 勝則 氏

生年月日

昭和32年1月10日

適任であるという意見を付して答申。

◆選挙第1号

山江村選挙管理委員及び補充員の選挙について

《内容》 選挙管理委員及び補充員については、議会において選挙することとなつてゐるため、議長の指名推選で行うことに決定し、議長が指名を行った。

選挙管理委員(当選決定)

谷川 安照 氏

豊永 睦夫 氏

前村 和夫 氏

山北 やちよ 氏

選挙管理委員補充委員(当選決定)

第一順位 中村 直人 氏

第二順位 谷川 正一郎 氏

第三順位 前田 勝則 氏

第四順位 橋本 文代 氏

過疎地域に対する要望活動

令和2年11月13日、新たな過疎対策法に関する要望活動を行いました。

過疎地域である山江村は、この制度によって財政面の優遇措置を受けており、上下水道や道路の整備をはじめとする住民生活に欠かすことのできない社会資本整備、ICT教育などのソフト事業が先駆的に実現できました。今回、過疎対策法の期限が令和3年3月末に失効することに伴い、過疎要件等の見直が検討され、山江村が優遇措置を受けられる過疎地域の指定から除外される可能性があるとの情報を得たため、全議員及び内山村長が上京し、地元選出国會議員へ山江村の現状を説明し、過疎要件の緩和などについて要望書を提出しました。

今後も山江村の発展のため、意義ある要望活動を行っていきます。

【要望先国会議員】

衆議院議員 金子 恭之 氏

1億総活躍・地方創生担当大臣 坂本 哲志 氏 (代理)

参議院議員 松村 祥史 氏

参議院議員 馬場 成志 氏



金子代議士へ要望書提出



坂本大臣(代理)へ説明



松村参議へ要望書提出



馬場参議へ説明

ここが聞きたい！ 一般質問！

※一般質問の内容は質問した議員の責任により掲載しています。



横谷 巡 議員

村道の災害復旧と万江川に砂防ダムの建設を！

岩ヶ野下払線の災害復旧の見通しについて

問 下払、大平地区住民の生活に欠かすことのできない基幹道路である岩ヶ野下払線で、今回の豪雨により、基礎路盤ごと滑落するという大きな災害が発生し、早期の復旧が求められているが、災害復旧の見通しはどうか。

答 建設課長 この路線では二箇所の手前が発生。起点側手前の土砂崩れは、堆積土砂の除去で年度内の完了を予定している。

下払地区手前の道路滑落箇所は、災害査定の後、工事復旧に入るが工事費は約一億円を見込み、長期となる。



基礎路盤ごと滑落した村道(村道・岩ヶ野下払線)

問 地区住民の迂回路である西川内下払線のある転石が多数存在しているが、落石防止の安全確保等の対策は。

答 建設課長

令和元年9月に落石事故が発生してから、長期に亘り通行止めを行っている。

現地調査を実施し、山腹には多数の落石の恐れのある転石を確認している。県の治山工事により、令和3年3月までには、工事発注の予定である。

万江川流域全体の治水対策として砂防ダムの建設は

問 万江川流域は広きに亘り、住宅、道路、橋梁、田畑等に大きな災害を受けた。

災害の要因でもある森林の荒廃の有り様は想像を超え、「川を治める者は国を治める」の格言があるように、山の手入れをし、整備をして、山を治める。川の流れを良くし、氾濫を防いで川を治める。ということからして、「治山治水」の整備が最重要である。

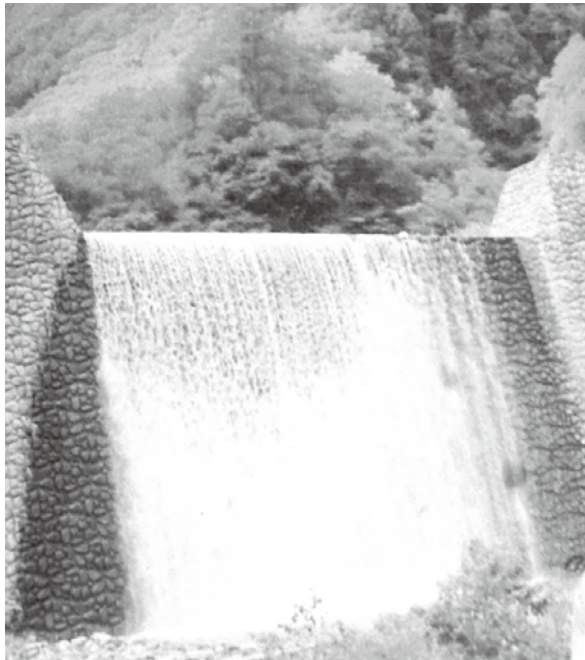
緊急的対策として、河川に

堆積した土砂を一刻も早く除去すること、万江川流域の広大な面積の森林資源の保全整備と併せて、万江川流域全体の治水対策として、上流から流れてくる土砂や流木を防ぐための砂防ダムの建設がより効果があり、必要と考えるがどうか。

答 建設課長

万江川本流に吐合の砂防ダム並みの砂防ダムの建設の

要望だと思うが、意見交換会や地域懇談会でも区長や地域住民から意見をいただいている。万江川は県の管理河川であるので、九州地方整備局や県にも砂防ダムの必要性について話をしている。万江川の砂防ダムの建設については、前向きに取り組んでいきたいと思っているので、地域全体の問題でもあり、地域住民のご理解をお願いしたい。



土砂、流木を防ぐ砂防ダム(万江川流域の治水対策)



立道 徹 議員

質問 災害復旧の過程をケーブルテレビ等で周知しては

答弁 復旧・復興の状況を村民へ伝えることは重要なことと考える

問 本復旧工事は、いつ頃になるのか。

①県道坂本人吉線・万江川河川掘削（県発注）

答 建設課長

復旧には長期間を要するので、緊急な箇所を考慮して県と村で調整しながら復旧工事を進める予定。万江川河川掘削工事は、随時発注し工事を進めていく。

②村道・農地・公費解体

答 建設課長

村道・河川工事も本復旧工事にも着手を始め、全ての

問 工事が完了するまで長期間になることが想定されるので、県工事・他の工事との調整を図り、早期復旧に向けて取り組んでいく。

答 健康福祉課長

現在、4件の申請があり、12月より淡島地区の2件から着工を始めており、随時発注する予定である。年度未完了に向けて進めていく。

問 工事予定等を広報・ケーブルテレビで知らせることは。

答 企画調整課長

この他、災害支援者への医療的、精神的ケアについても質問を行った。

問 画策定までの状況等をお知らせしていく。

答 企画調整課長



農地災害 万江淡島地区



橋梁災害 万江足算瀬地区



林道災害 万江葛地区

万江川流域の早期復旧と安心して避難できる場所の確保を！

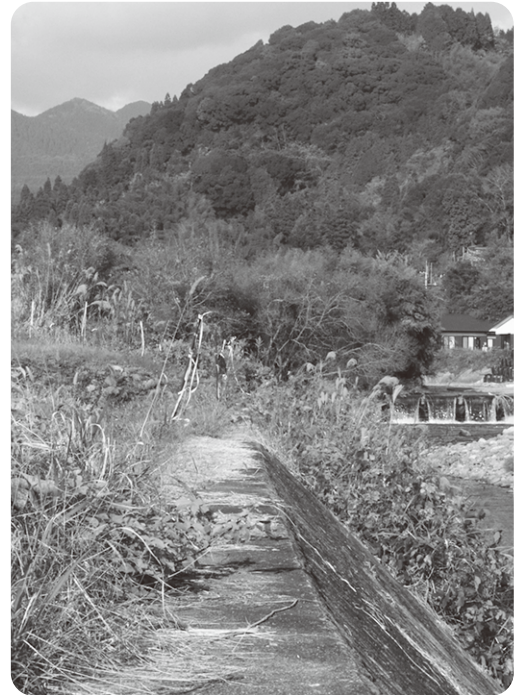


本田 りか 議員

問 小森地区、県道滝下。神園橋上流。城内団地横。集落排水万江クリンセンター下流堤防は、今回の大水害で一部堤防が流出し、越水による水田、家屋への土砂、材木の流入が発生したが、災害の調査と復旧における現在の進捗状況及び今後の復興計画と下の段橋上流の堤防が無い所や低い所の計画は。

答 建設課長

県への確認では小森地区から人吉市との堺までの区間で5か所被災し、12月迄に災害査定を完了し、背後地



早期復旧が待たれる堤防(下の段地区)

問 住宅地など、緊急性の高い所から順次工事に着手する予定との回答。下の段橋上流の堤防は引き続き県へ要望をする。

答 建設課長

全体の復旧に長期間を有する事から、県と村で調整しながら村としても早期復旧に向けて要望を行っていく。

問 万江阿蘇神社下流右岸とは下の段橋下流右岸には、河川内の内側に向いているブロック積みみの河川内堤防があるが、川幅が狭く感じるが県へ改良の要望は出来ないのか。

答 建設課長

基本的には河道を阻害しない様な計画であり、確保されている様で、川道を阻害している様であれば県へ要望したいと思っている。

問 前回の山江温泉ほたるの避難所についての質問に対し、どの様な調査、検討をされたのか。又、山江村自然休養村管理センターは、豪雨による大規模な雨漏りが発生し、体育館以外は使用出来ないが、指定避難所も兼ねた改修や建て替えを検討出来ないか。

答 総務課長

具体的な調査は行っていないが、検証結果により今回の状況を踏まえ、指定避難所から除外する検討をしている。又、自然休養村管理センターは指定避難所としては、土砂災害に対して危険なリスクがあり、避難所としての指定は考えていない。の活用については修繕等で対応を考えているが大規模な修繕、建て替えは経費がかかる為、補助事業などの有利な財源を模索している。万江地域内においては指定避難所が



無い為、安全な高台に避難所建設も考えなければならぬが、一時的な緊急避難所として公共施設や公民館、更に安全な民間の家屋等の利用など、地域で話し合い、共有し、災害に備え、各地区の自主防災組織、各家庭で大雨に対するタイムムラインや避難所への避難経路など、様々な情報を収集、共有し、明るい時間帯での早目の避難準備と避難開始をとり、自分達の命は家族や地域で守る行動をとって頂きたい。



西 孝恒 議員



流失した万江川護岸の水田用水路

農業用施設災害復旧は如何に！

問 田畑も150ヶ所位被害のなかで、水田に必要な堰や水路の復旧を要する箇所と進捗状況は。

答 産業振興課長

現状は、国の災害復旧事業で工事を行う為の災害査定を受検中であるが、大規模な被害箇所では万江地区の約20haの水田のうち約15haへの土砂流入被害や淡島堰や前田堰の水路流失がある。被災された農家の方も来期の作付はどうかの声もあり、水田の復旧を早急に進める方針である。

複数年かかるところは年次計画を立て進めて行きたい。

問

答 産業振興課長

頭首工（堰）、水路、農道等の被害概要と河川との関係、復旧プランは。被害箇所の復旧については、国の災害復旧事業及び多面的機能支払交付金、小規模災害復旧補助金を活用しながら行政、団体、個人での復旧に取り組みを進め

て行きたい。水路等については、査定は終了しているが復旧工事を進めるには、まず県道及び河川護岸復旧の県事業が終わった後に堰や水路の復旧工事になる。河川との関係があるこのような箇所については、県との協議が必要であり、県の工事に合わせるため復旧まで複数年かかると思う。時間を要する箇所等は必要に応じて取水ポンプ等の仮対応や堰係方々とも話を進めて行きたい。

コロナ禍に於けるICT教育先進地としての対応は！

問

答 教育長

コロナ禍によりオンライン授業等新たなICT教育の分野が注目され、全国的に急速に広まる中で先進地の本村として今後の新たな取り組みや課題について次の3点を伺う。
①現在に於けるICT教育ハード面の整備状況。
②小学校低学年へのオンライン対応。
③コロナ禍の中での今後の課題や展望。

例会にて予算計上中である。②点目の低学年の情報活用能力の育成については、目標をコンピュータの起動や終了、カメラ機能など取扱基本操作の習得としているが、先生方の指導により操作能力も非常に向上している。今後のオンライン授業を想定し、低学年にできるオンライン学習のあり方を研究して行きたい。③点目はコロナ禍により3月から臨時休校となったが、いち早くICTを活用し双方向通信の良さを活かしたオンライン学習に取り組んでいる。その為休校で危惧された教育課程の遅れも現在通常の進路に戻っている。今回の課題としては、全家庭でのWiFi環境の整備と子ども達の情報モラル教育の推進を積極的にを行い、この恵まれた環境をフル活用し、一人一人に公正に個別最適化された学びを保障して行きたい。

コロナ禍 更なる生活支援対策を！



赤坂 修 議員

第一次地方創生臨時交付金で17事業、第二次で23事業の経済、予防、生活支援対策を講じておられるが生活支援対策4事業について再度支援の考えを問う。

地域振興券発行事業

問 「やまえ暮らし応援券」は使用できる事業所が少ないので人吉球磨管内で使用できる商品券の発行の考えは。

答 企画調整課長

市町村との協議が必要なので発行は難しい。

問 商品券に代わって現金給付の考えは。

答 村長

要望として受け止めておく。

就業者支援対策

問 事業者や農林業者への支援対策は講じられているが、村内外に努めておられる就業者もコロナ禍で勤め先が影響を受け、給料ボーナス等に影響が出ていると考えるが支援の考えは。

答 企画調整課長

国の雇用調整助成金や、村独自の事業継続支援金を活用していただきたい。

問 他村では通勤費とゆう形で支援されている自治体もあるが、就業者個人に対しての支援の考えは。

答 企画調整課長

課題等を把握して検討していく。



pixta.jp - 50335599

未来の担い手応援事業

問 第一次臨時交付金で実施された未来の担い手応援事業に対する反響は。

答 教育課長

保護者の方から数件のお礼の言葉を伺い感謝された様

子がうかがえ、コロナ禍における生活支援対策としては事業の成果があった。

問 第三波の感染拡大の中経済的にも不安を抱えていると思うが現金給付による支援の考えは。

答 村長

現金給付がいいのかわ必要品がいいのか、それぞれ特徴があるのでしっかり検討していきたい。意見として聞いておく。

特別定額給付金

問 国の特別定額給付金について、対象日以降に生まれた新生児に対する給付金について、第二次の交付金で対応できるよう検討するとの答弁であったが。

答 総務課長

新生児への支援について第三次の交付金の検討課題として考えている。

問 再度検討するということであるが山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略では、山江村の基本目標として結婚・出産・子育ての希望をかなえ笑顔のたえないむらづくりを掲げられているが。

答 村長

定額給付金とは別問題である。期限をいつで区切るのかという課題もあるので今後検討する。意見提案として聞いておく。

この他、納税組合についても質問を行った。



令和2年第6回山江村議会臨時会報告

令和2年第6回議会臨時会が10月7日に召集されました。令和2年度一般会計補正予算、特別会計補正予算の計2件が提案され、審議を行った結果、原案通り承認、可決しました。

こんなことが決まりました

議案番号	事件名	議決の結果
議案第55号	令和2年度山江村一般会計補正予算（第6号） ※新型コロナウイルス感染症対応（地方創生臨時交付金）に係る補正 1億7,622万4千円 ※災害検証及び復興計画策定に係る補正 250万円 （補正後の予算総額 73億7,013万円）	原案可決
議案第58号	令和2年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算（第3号） ※保険税還付等に係る補正 20万円	原案可決

令和2年第7回山江村議会臨時会報告

令和2年第7回議会臨時会が11月16日に召集されました。条例の一部改正、令和2年度一般会計補正予算の計2件が提案され、審議を行った結果、原案通り承認、可決しました。

こんなことが決まりました

議案番号	事件名	議決の結果
議案第57号	山江村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について ※人事院勧告及び熊本県人事委員会勧告に準じた改正を行うもの （一般職の期末手当支給額を0.05月分引き下げ）	原案可決
議案第58号	令和2年度山江村一般会計補正予算（第7号） ※7月豪雨災害復旧に係る補正 2,621万7千円 （補正後の一般会計予算総額 73億9,634万7千円）	原案可決

「議員活動の1コマ」

豪雨災害からの復興へ向けて



令和2年7月豪雨からの復旧・復興に向けた「山江村災害検証及び復興計画策定委員会」が発足し、議会からも3名の議員が委員となり、会議へ参加しています。

令和2年11月6～7日には、山田川・万江川沿いの災害現場を歩いて調査するとともに、復興計画策定に向けたワークショップが開催され、活発な意見交換がされました。

山江村災害復興計画については、令和3年3月策定の予定で、今後も会議が開催されます。



【山田川と球磨川の合流地点を調査】



【ワークショップの様様】

豪雨検証及び復旧・復興プランの説明

令和2年10月30日、令和2年7月豪雨災害検証委員会で協議されている内容について、国土交通省八代河川国道事務居及び熊本県球磨川流域復興局より説明を受けました。

また、12月3日には、検証委員会での結果を踏まえ策定された「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」について、熊本県球磨川流域復興局より説明を受け、意見交換を行いました。

現在検討されている、「山江村災害復興計画」と連動し、一日も早い復興がなされるよう議会としても取組みを強化してまいります。

写真の「復旧・復興プラン（抜粋）」については、熊本県のホームページに掲載されています。



【国・県説明】



【復旧・復興プラン（抜粋）】

だんだんなあ

令和三年 謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症の感染拡大により生活や社会経済活動がかつて経験したことがない大きな影響が出た年であり、日本はどのようになるのかと思う年でありました。一人一人が新しい生活様式を実践し一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願うところでです。また、コロナ対策を講じている中で、7月豪雨災害が発生し甚大な被害が出て、大規模災害が発生する近年、改めて自然の猛威を実感する年でもあり、議会の一員として早期の復旧復興に向けて取り組んでいきたいと考えております。

中竹議長の年頭のあいさつの中で今年の議会は「学習する議会」として取り組んでいきたいと抱負を述べられました。私達広報委員も少しずつではありますが限られた予算、紙面の中で、読みやすく、興味を持っていただけるような構成内容を目指して邁進していきたいと考えております。議会の傍聴や忌憚のない意見を聞かせていただければと思っております。今年もよろしくお願いたします。

(文責 赤坂 修)

【山江村議会広報編集特別委員会】

- 委員長／赤坂 修
- 委員／久保山 直巳
- 本 田 龍喜
- 中 村 龍喜